

令和7年度一般陸曹候補生・自衛官候補生入隊者（女性）に 対するフォロー広報に参加 ～朝霞駐屯地の女性自衛官教育隊を見学～



りっくんランドの戦車前で記念撮影



一般陸曹候補生課程教育の概要説明を受ける参加者



美味しい昼食を満喫する参加者



参加者同士で協力しベッドメイキング体験



隊力検定の種目の展示



「敬礼」を体験！



女性だけの懇談会

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子1陸佐）は、2月14日（土）朝霞駐屯地において実施された令和7年度一般陸曹候補生・自衛官候補生入隊予定者（女性）に対するフォロー広報に参加した。

栃木地本からは、令和7年度一般陸曹候補生・自衛官候補生入隊予定者（女性）5名及び保護者3名が参加した。

昼頃に朝霞駐屯地に到着した参加者は、駐屯地隊員食堂において体験喫食をし、栄養バランスの取れた食事と美味しい味付けに大満足の様子だった。また、各駐屯地にご当地メニューがあることや豊富なメニューに驚いていた。昼食後は女性自衛官教育隊での一般陸曹候補生課程の教育内容や生活環境などについての概要説明を受け、参加者からは入隊前後にまつわる質問が多数あった。その後は、実際に入隊後に生活をする営内居室で整ったベッドや充実した公共場所を見学し、入隊後の生活に対するイメージを深めていた。また、体験学習では、女性自衛官教育隊の班長・助教等による「敬礼」や「点呼」の説明や体験、体力検定で実施する「腕立て伏せ」や「起き上がり（腹筋）」の要領や「入隊までどのようなトレーニングをするか」といいかなどの説明や入隊後に貸与される半長靴の手入れとベッドメイキングの体験が行われ、参加者同士和気あいあいとした雰囲気の中で、親睦を深めていた。最後に女性だけの懇談会が行われ、女性ならではの不安や心配事などの質疑応答や先輩隊員からの訓練内容や生活、休日の過ごし方などについて話を聞き、参加者は入隊前後の不安が解消できた様子であった。

参加者からは「隊員の方から実際の様子を聞いてとても参考になった」、「隊員の方たちが優しく接してくれて安心して」、「入隊同期になる人と仲良くなるのができてよかった」などの声が聞かれ、入隊を控える参加者と保護者にとって、とても良い機会となったようである。

栃木地本は「今後も方面が実施するフォロー広報などの機会を有効に活用し、入隊予定者の不安や疑問を解消していきたい」としている。